



県営田崎団地

- ★生活環境施設の整備
 - 住宅・生活環境施設の整備
 - 県民が快適で安全な生活を営むことができるよう第四期住宅建設五ヶ年計画に基づいて住宅の供給を促進します。
 - また生活に関する交通体系や運動公園都市河川など住民の生活環境の整備を図ります。
 - ★都市交通調査…………… 二百百万円
 - 熊本市中心部及び人吉都市圏の交通環境改善のための調査を行います。
 - ★違反広告物の除却清掃…………… 六百一十万円
 - 街の美観をそごう違反広告物の除却清掃を行い美しい街づくりに努めます。
 - ★生活関連道路(街路)整備…………… 二十三億三千六百一十一万円
 - 都市計画道路新市街水前寺線ほか十八重要幹線街路の整備を促進します。
 - ★区画整理事業…………… 十億百十六万円
 - 街並や街路及び公園等の公共施設を整備し、住み良い街づくりに努めます。
 - ☆熊本北部流域下水道事業の促進…………… 千百万円
 - 熊本市の北部地域を含む一市三町(熊本、北部町、菊陽町、合志町)にわたる坪井川上流域及び堀川流域について下水道の整備を図るため熊本北部流域下水道基本計画を策定します。
 - ★県営住宅の建設…………… 三十二億九千三百七十七万円
 - 公営住宅三百二十戸(身障者向け十二戸・老人向け十六戸・母子世帯向け十五戸を含む)を田崎団地(八十戸)・八反田団地(八十戸)・須屋団地(三十戸)及び八島団地(百戸)に建設します。
 - ★住宅建設資金の貸付け融資…………… 三億九百万円
 - 個人住宅建設を促進するため、住宅金融公庫から資金を借受ける者のうち低所得者を対象に、住宅建築資金(従来までの分二億九百万円、新規分一億円)最高百五十万円を限度として貸付けを行います。
 - ★がけ地近接危険住宅移転事業の促進…………… 三千二百九十六万円
 - がけ地に近接している危険な住宅について、安全な場所への移転促進を図ります。
 - ★テレビ難視聴対策…………… 八百三十九万円
 - 地形的な原因等で発生する難視聴地区を解消するため、当該地区が共同受信施設を設置する場合、これに要する費用の一部を補助します。

- ★交通安全対策
 - 交通安全については、人命尊重の理念を基本とし、市町村、関係機関及び団体等と連携を保ちながら、交通安全運動の推進、交通安全思想の普及に努めるとともに、交通安全施設の整備を図り、人と車の調和のとれた明るい社会づくりの推進を図ります。また、不幸にして交通事故が発生した場合には、関係の方々の相談に応じられるよう、交通事故相談所を開設しております。
 - ★交通安全総合対策費…………… 千三十八万円
 - 交通安全対策の進め方の検討、市町村との連携、交通安全についての功労者の表彰及び国や他県との協議等を行い、交通安全の効果的推進を図ります。
 - ★交通安全思想普及事業…………… 九百二十六万円
 - 全国及び県独自の交通安全運動を事故多発期に行い、全県民に対する交通安全思想の普及徹底に努めるとともに、幼児、母親、老人等いわゆる交通弱者に対しては、「幼児交通安全クラブ」の結成と育成により幼児と母親に、また、講習会等により母親と老人にそれぞれ交通安全についての思想の普及徹底を図ります。
 - ★交通安全施設整備…………… 二十八億三千八百四十三万円
 - 交通安全を促進するため、関係機関と協議して道路の整備を図るとともに、児童の通学路に歩道を設けるほか歩道の段差改良等を行い、通学時の交通事故防止に努めます。
 - ★交通秩序確立の対策…………… 二百四十七万円
 - 一人歩きが始まる三歳児の交通事故を防止するため、三歳児検診を利用して保護者指導の徹底を図るとともに、運転者に対しては、死亡事故の主な原因となつている暴走、飲酒運転の絶滅及びシートベルト着用を推進します。また、「熊本県交通安全母の会」の育成等交通秩序の確立に努めます。
 - ★交通事故被害者対策…………… 八百二十九万円
 - 交通事故当事者間の円滑な解決方法等について専門の相談員による指導および助言を行うことにより被害者の救済に努めます。また、主な地域ごとに毎月、巡回相談を行います。
 - ★防災対策
 - 県民一人ひとりが防災意識を深めるため自主防災組織の組織化を呼びかけるとともに、市町村消防施設の科学化、近代化の促進など防災消防対策の充実強化をはかる。また、消防職員、団員の資質の向上をはかるため、消防学校における教育内容の充実を図ります。
 - ★自主防災組織の育成と防災意識の高揚…………… 六百十八万円
 - 火災、風水害などの災害から身を守るためには、県民一人ひとりが防災に対する認識を深め、地域の人々が地域ぐるみで災害に対処することが必要です。このため、住民の自主的な防災活動と防災訓練への積極的な参加を呼びかけるとともに、総合防災展を開催します。
 - ★消防強化促進…………… 四千六百六十六万円
 - 建築物の高層化、複雑化に伴う火災の多様化、自動車事故等の特殊災害の増加に対処するため、はしご付消防ポンプ自動車、消防指令装置等消防設備の近代化を図るとともに普通消防ポンプ自動車、消防水槽等の整備を図ります。
 - ★消防学校…………… 五千一十一万円
 - 消防学校は、五十三年度用地買収、五十四、五十五年用地造成、本館、訓練塔等建物の建設が完了し、いよいよ五十六年度から新消防学校に移転することとなりました。
 - 消防学校は、県下の消防職員、団員の初任科教育から、専科教育まで、近代施設のもとで教育訓練し、県内における消防、防災活動に充分対応できる消防職員団員を養成します。
 - ☆火山等緊急対策砂防事業…………… 九千万円
 - 阿蘇火山活動に伴う堆積降灰による土石流災害の発生を未然に防止するため、新設された国庫補助事業により、緊急に必要とする砂防設備から堆積土砂の除去等を実施します。
 - ★防犯行政無線施設整備…………… 二千二百万円
 - 防犯行政無線で送受信状態の悪い天草地域の通信回線の改善を図ります。
 - ★水防テレビメーター整備…………… 二千五百五十七万円
 - 現在運用中の水防テレビメーター総合システムの一環として、新たに建設省川辺川系七局のデータ傍受施設を整備します。
 - ★防犯対策
 - 現下の警察事象に対処するため、警察関係につきましても、警察官二十五名を増員しますほか、機動力の増強をはじめ装備資器材の拡充をはかるとともに、暴力団犯罪、覚せい剤事犯の絶滅を期することとしています。
 - ☆警察官二十五名の増員…………… 六千五百八十八万円
 - ☆捜査用車両など七台の増強…………… 千八百七十六万円
 - ☆一〇番指令室緊急現示装置設置…………… 千三百六十二万円
 - ☆覚せい剤事犯対策の強化…………… 三百三十七万円
 - ☆交通死傷事故防止対策の強化…………… 七百七十二万円